

アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の 一層の充実を目指して

北海道教育委員会においては、平成20年3月に策定された、「北海道教育推進計画」において、「ふるさと教育の充実」を掲げ、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実を図ることとしております。各学校においては、副読本や実践事例を活用し、教育活動の充実を図ることが大切です。子どもたちにアイヌの人たちの歴史・文化等への正しい理解を図り、郷土に対する愛着や誇りをはぐくむとともに、地域社会の一員として、ふるさとに生きる自覚をもたせる必要があります。

指導に当たっての配慮事項

アイヌの人たちの歴史・文化等の指導にあたっては、アイヌの人たちの歴史・文化等について正しい理解を図るために、地域や学校の実態、子どもたちの発達の段階を考慮して、適切に指導を行うことが大切です。指導にあたっては、次のことを配慮しましょう。

アイヌの人たちの歴史・文化等の取扱いについては、日本国憲法と教育基本法の精神にのっとり、基本的人権を尊重する立場に基づいて行われるようにすること。
アイヌの人たちの歴史等について、正しい理解と認識を深めるため、地域や学校の実態及び、子どもたちの発達の段階に即し、各教科、道徳、特別活動等の特性に応じて適切な指導が行われるようにすること。
社会科副読本や指導資料の活用にあたっては、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する内容が適切に取り扱われるようにすること。
アイヌの人たちの歴史・文化等の指導にあたっては、地域の実情を十分理解するとともに、教職員の研修を充実するなどして、適切に行われるようにすること。
また、教育の中立性が守られるように留意すること。

アイヌの人たちの歴史・文化等に関する指導資料等

北海道教育委員会や財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構が指導資料や視聴覚教材(DVD「イランカラテ」等)を発行しており、それらを有効に活用することができます。

なお、北海道教育委員会のホームページにも子ども向け用の「学習情報トピックス」に資料を掲載したり、義務教育課のホームページに本資料「ピラサ」を掲載したりしていますので、これらを活用することもできます。

【指導資料等】

学校教育指導資料「アイヌの歴史・文化に関する指導の手引き」

北海道教育委員会(昭和59年)

高等学校教育指導資料「アイヌ民族に関する指導の手引き」

北海道教育委員会(平成4年)

「アイヌ民族：歴史と現在」 未来を共に生きるために

【小学生用】【中学生用】

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構(平成20年)



<DVD「イランカラテ」>

アイヌのものがたりの紹介

～今回は、前号に引き続き、ものがたり(絵本)を紹介します。～

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構では、アイヌの人たちの伝統や文化を多くの人々に伝えるために、絵本をつくっています。ホームページで見ることができます。



やなぎのはのさかな
かわうそのものがたり
くまのしっぽがみじかくなった
わけ

次のアドレスから見るすることができます。

http://www.frpac.or.jp/kodomo/flash/ehon/ehon_main.html

根室教育局では、平成20年度の教職経験者研修において、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する講座を設けました。

ねらい

アイヌの人たちが自然等とのかかわりの中ではぐくんできた文化や豊かな知恵などについて理解を深め、日常の教育活動の充実に資する。

主な活動内容～講義

講師：北海道ウタリ協会 副理事長 秋辺 得平

講義「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育」の説明要旨

- ・アイヌの人たちは、北海道などに古くから住んでおり、自然の恵みに感謝し、人間を深く愛する民族である。
- ・アイヌの人たちの自然観としてアイヌ（人間）も自然界の一員であって、人間が自然界の頂点にいないわけではないということが原点である。
- ・明治になって、蝦夷地は北海道となり、本州などから多くの移住者が入植したため、アイヌの人たちは少数者となり、「同化政策」がとられた。また、樺太や千島に住んでいたアイヌの人たちが強制的に北海道内や色丹島に移住させられた。
- ・近年に至るまで、アイヌの人たちは、いわれのない多くの差別などを受けた。今では、伝統的な生活を続けている人はいないが、固有の文化を有する「アイヌ民族」として、誇りをもって伝統・文化を受け継いでいる。
- ・アイヌ民族とは、どんな歴史や文化、生活習慣をもつ人たちなのか、そして、現在どのような状況にあるのか等について正しく知ることが必要である。

受講者の様子

参加した受講者からは、「まず、自分自身が正しく認識し、それを子どもに伝えていくことの大切さに気付くことができた。」「挨拶や言葉、名前などの話が印象的で、アイヌの人たちの歴史と文化等について、理解を深めることへの意欲が高まった。」など、改めて北海道の豊かな自然や伝統・文化に親しみ、理解を深めるふるさと教育の重要性が理解できたという声が数多く寄せられています。

中標津町立中標津東小学校では、第4学年社会科において、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習を行いました。

ねらい

白老・阿寒・平取と木彫りの熊の関係を知り、アイヌの人たちの生活に対する興味・関心を高めるとともに、アイヌの人たちが自然とのかかわりの中ではぐくんだ伝統や文化について理解を深める。

主な活動内容と子どもの様子

前時の学習を振り返ろう。

- ・各地区の名産品を地図帳で見ると、アイヌと書いてあるところがあるよ。

アイヌ民族：歴史と現在(小学生用)

平成13年<財>アイヌ文化振興・研究推進機構発行

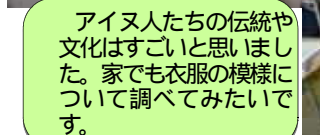
のP4～5の絵を見て、気が付いたことを話し合おう。

- ・動物と一緒に暮らしている。
- ・分からない言葉が書いてある。
- ・アイヌ民族という人たちがいることを聞いたことがある。

アイヌの人たちの衣食住を調べてみよう。



今より暮らしは大変だけど、自分たちの文化をもっていることがすごい。



アイヌ人たちの伝統や文化はすごいと思いました。家でも衣服の模様について調べてみたいです。



今日は、アイヌ民族について勉強しました。アイヌの人たちは生きがいのある人生を生きていたと思います。なぜなら、自分たちの力でいろんなものを作り出しているからです。

<お知らせ>

アイヌの人たちの歴史・文化等の啓発の促進を目的に、平成19年12月から発行してきた本資料は、本号が最終号となります。今後においても、各種指導資料や「北の大地に根ざした豊かな学び推進事業」の報告書等をとおして、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習等にかかわる情報を提供していく予定です。